

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーネックス

コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	3,665	0.6	41	△49.8	47	△43.5	33	△2.7
25年6月期第3四半期	3,644	△17.0	82	△82.9	84	△82.6	33	△87.1

(注)包括利益 26年6月期第3四半期 39百万円 (△27.5%) 25年6月期第3四半期 54百万円 (△79.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	2.00	—
25年6月期第3四半期	1.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	7,821	5,087	65.1	307.10
25年6月期	7,820	5,098	65.2	307.71

(参考)自己資本 26年6月期第3四半期 5,087百万円 25年6月期 5,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,280	8.6	274	114.9	273	101.3	166	104.2	10.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	16,600,000 株	25年6月期	16,600,000 株
26年6月期3Q	32,651 株	25年6月期	31,476 株
26年6月期3Q	16,567,641 株	25年6月期3Q	17,385,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後のデフレ脱却政策の効果および円安定着化を背景に、大企業を中心とした企業収益は改善し個人消費も持ち直すなど緩やかな回復基調が見られた一方で、円安による電力、ガス等エネルギーコストの上昇が続き大幅なコストアップ要因となり製造業を取り巻く環境は厳しさを増しています。また新興国の成長鈍化、世界経済の減速、政情不安、消費税増税に伴う個人消費への影響などのマイナス要因があり、先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、受注確保並びにコスト削減に努めました。運送事業の売上が好調に推移したため、売上高は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。一方利益面では、ガス、電力費の上昇等製造コストが上昇したことから、人件費、修繕費等の削減に努めましたが、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,665百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比49.8%減）、経常利益は47百万円（前年同四半期比43.5%減）、四半期純利益は33百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安の定着化により輸出環境は好転していますが、主力取引業界の海外生産体制は確立しており、輸出の伸びが低調であったため、工作機械業界向け売上は増加したものの、自動車・建設機械向け売上は、低調でした。一方、ガス、電気料金の上昇等により製造コストが大幅に上昇したことから、人件費、修繕費等の経費削減に努めましたが、前年同四半期比減収減益となりました。

また風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけており、再生可能エネルギー導入の機運は高まっているものの、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発により発電機事業は停滞しており、当社受注も伸び悩みました。

これらの結果、売上高は3,239百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は60百万円のセグメント利益）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが増加したため、売上は好調に推移しました。また、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の合理化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は426百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較してほぼ同額の7,821百万円となりました。これは主に未収還付法人税等が82百万円、機械装置及び運搬具が112百万円減少したものの、現金及び預金が241百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して11百万円増加し2,733百万円となりました。これは主に短期借入金150百万円、社債が88百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が35百万円、未払法人税等が38百万円、賞与引当金が47百万円、長期借入金133百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し5,087百万円となりました。これは主に利益剰余金が16百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年8月14日の「平成25年6月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,729,713	1,971,095
受取手形及び売掛金	1,622,221	1,589,158
製品	13,513	12,363
仕掛品	44,438	32,368
原材料及び貯蔵品	91,241	92,273
未収還付法人税等	82,000	—
繰延税金資産	6,068	33,693
その他	112,444	123,246
貸倒引当金	△316	△310
流動資産合計	3,701,323	3,853,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	907,314	891,314
機械装置及び運搬具（純額）	485,414	373,029
土地	1,838,851	1,838,851
リース資産（純額）	138,195	154,972
建設仮勘定	24,405	—
その他（純額）	101,456	101,492
有形固定資産合計	3,495,638	3,359,659
無形固定資産	183,228	157,524
投資その他の資産		
投資有価証券	193,753	202,323
繰延税金資産	126,972	128,848
その他	120,622	119,101
貸倒引当金	△1,244	—
投資その他の資産合計	440,104	450,273
固定資産合計	4,118,970	3,967,456
資産合計	7,820,294	7,821,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,361	366,511
短期借入金	432,454	281,952
1年内償還予定の社債	158,000	178,000
未払金	155,032	171,898
未払費用	220,798	225,509
未払法人税等	5,182	43,281
賞与引当金	19,371	66,558
その他	203,208	123,424
流動負債合計	1,525,409	1,457,135
固定負債		
社債	311,000	223,000
長期借入金	366,315	499,930
退職給付引当金	350,247	376,708
その他	168,940	176,728
固定負債合計	1,196,502	1,276,366
負債合計	2,721,911	2,733,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,480,559	3,463,909
自己株式	△4,638	△4,797
株主資本合計	5,067,715	5,050,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,667	36,936
その他の包括利益累計額合計	30,667	36,936
純資産合計	5,098,382	5,087,843
負債純資産合計	7,820,294	7,821,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,644,887	3,665,247
売上原価	2,748,497	2,787,895
売上総利益	896,390	877,352
販売費及び一般管理費	813,636	835,782
営業利益	82,753	41,569
営業外収益		
受取利息	3,681	3,513
受取配当金	1,396	1,516
受取賃貸料	5,874	5,801
スクラップ収入	7,427	7,112
その他	9,652	7,619
営業外収益合計	28,033	25,564
営業外費用		
支払利息	16,607	12,839
支払手数料	7,406	6,003
社債発行費	809	809
その他	1,938	38
営業外費用合計	26,762	19,691
経常利益	84,024	47,442
特別利益		
固定資産売却益	5,799	5,477
投資有価証券売却益	—	4,284
保険解約益	16,280	—
特別利益合計	22,079	9,761
特別損失		
固定資産売却損	650	—
固定資産除却損	3,420	132
割増退職金	12,154	—
特別損失合計	16,224	132
税金等調整前四半期純利益	89,879	57,071
法人税、住民税及び事業税	67,651	58,527
法人税等調整額	△11,727	△34,510
法人税等合計	55,923	24,016
少数株主損益調整前四半期純利益	33,955	33,055
四半期純利益	33,955	33,055

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,955	33,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,290	6,269
その他の包括利益合計	20,290	6,269
四半期包括利益	54,246	39,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,246	39,324
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	情報処理事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,270,065	359,969	14,852	3,644,887	—	3,644,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	204,650	26,842	231,492	△231,492	—
計	3,270,065	564,620	41,694	3,876,379	△231,492	3,644,887
セグメント利益又は損失(△)	60,926	29,417	△19,901	70,441	12,311	82,753

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,311千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,239,082	426,165	3,665,247	—	3,665,247
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	192,746	192,746	△192,746	—
計	3,239,082	618,911	3,857,993	△192,746	3,665,247
セグメント利益又は損失(△)	△3,500	33,436	29,935	11,633	41,569

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額11,633千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(重要な子会社の設立)

当社は、平成26年5月12日開催の取締役会において、下記の通り子会社の設立及び新たに工場を取得することを決議いたしました。

なお、同社の資本金の額は当社の資本金の額の百分の十以上に相当するため、当社の特定子会社に該当いたします。

1. 子会社設立の目的

当社グループは将来を見据えて需要地に近接した工場配置、労働力の安定確保、物流の効率化、BCP対策等を勘案し、近畿・東海・北陸エリアに近接した新しい熱処理事業拠点における受注の拡大及び新規取引先の獲得を目指し、子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

①商号	株式会社オーネックステックセンター
②所在地	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐字鍛冶山田2403番12
③事業内容	金属熱処理加工事業
④資本金	9,500万円
⑤出資比率	株式会社オーネックス 100%
⑥設立時期	平成26年5月(予定)
⑦工場の概要	
・敷地面積	18,542.00m ²
・建物	鉄骨造地上1階工場 3,606.07m ² 及び附属建物2棟 14.37m ²